

上田長野間の水道事業の広域化の取組について



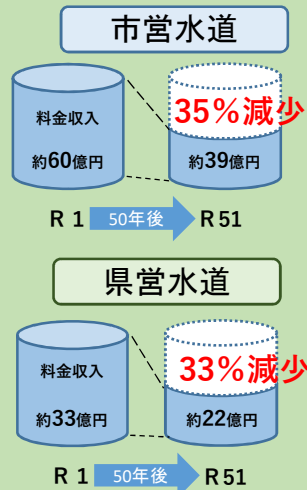
1. 水道事業における課題

将来予測から見える課題には次のようなものがあります。

課題1、2は研究会の財政シミュレーションより、
課題3は将来推計人口と同じ割合で減少した場合

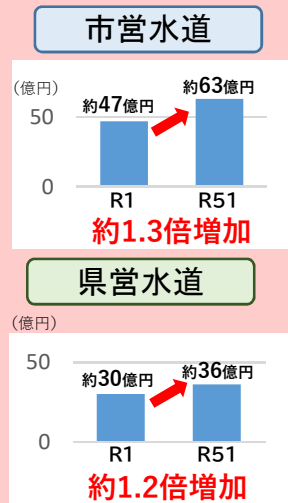
課題1

人口減少などにより、料金収入が大幅に減少



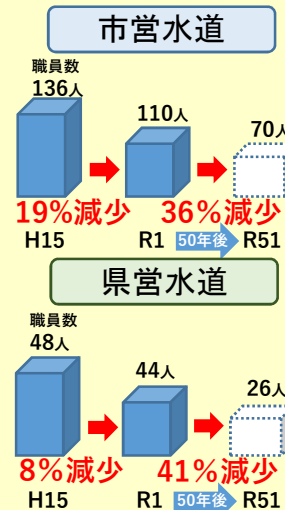
課題2

施設の老朽化などにより、維持管理や更新に膨大な費用が必要



課題3

水道事業を支える人材不足



課題4

近年多発する大規模災害時などの緊急時の対応が必要(危機管理対策)

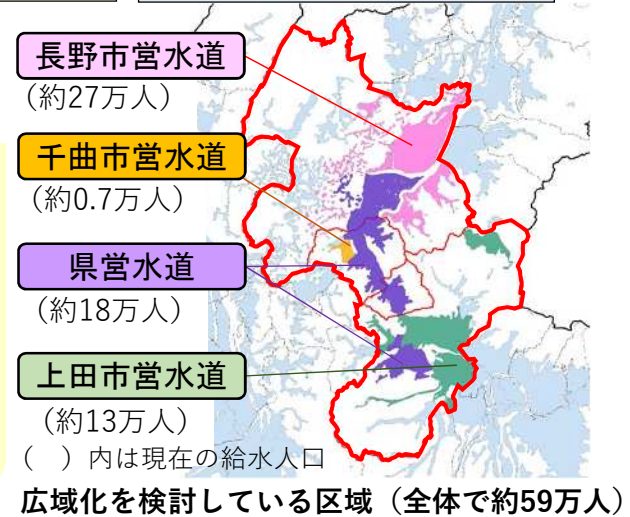


最近の大規模断水の事例
和歌山市: 老朽水道橋の落下 6万戸断水
静岡市: 台風災害 6.3万戸断水

2. 広域化（広域連携）の検討

水道事業が抱えるこれらの課題に対し、独立採算により健全経営を維持するには、水道料金の大幅な値上げと水道事業に係る経費の相当な削減が必要となります。

このため、上田長野間の4つの水道事業体（右図）が広域化（広域連携）することで、高低差を利用した自然流下による水道水の運用とスケールメリットを活かし、将来の水道料金の値上げを抑制し、経費の削減を図り、基盤を強化することができないか検討しています。



3. 広域化（事業の統合）による効果

1 長野市上下水道局単体で事業を継続していくよりも、経費の削減、災害時の対応強化、必要な人材の確保を図ることができ、より水道の基盤を強化することができます。



水道事業に携わる専門人材の育成・確保ができるようになります



水道料金の値上げの幅を小さくし、将来を担う世代の負担を減らします



配水池



浄水場

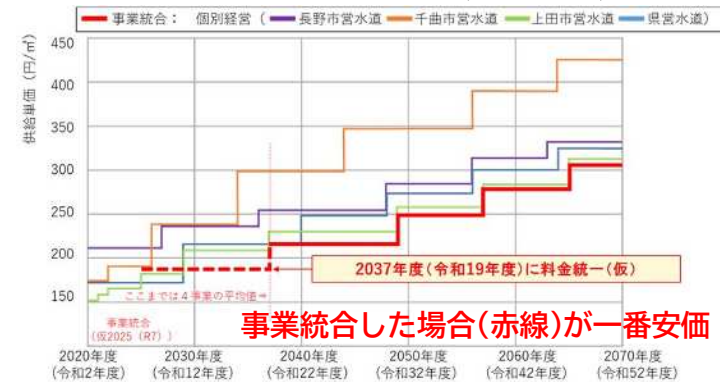
国の財政支援により、配水池や浄水場、水道管などの水道設備の更新や耐震化が進みます



送水管の二重化
千曲川の右岸に国の補助金を活用し、新たに送水管（赤線）を整備することで緊急時でも水道水が供給できるようになります

2 国からの財政支援が得られることや、事業規模の拡大による経営の効率化が図られることにより、将来の水道料金の値上げを抑制することができます。

財政シミュレーション（供給単価）



事業統合した場合（赤線）が一番安価

事業体別	50年間の削減効果
市営水道	361億円
県営水道（上田市～長野市）	192億円
長野市全体（市営水道＋県営水道）	467億円

（上田長野間全体の効果削減額 669億円）

467億円の効果は、経営面からすると年間9億円以上の経費削減した場合と同等となります。

（上田長野地域水道事業広域化研究会報告書（令和4年3月公表）より）

4. 効果と課題（まとめ）

広域化（事業の統合）することで以下の効果と課題があることが示されました。

- ・国の財政支援の活用や経費削減により、水道料金の値上げが抑制できます。
- ・送水管の二重化などの整備により、上田長野間の地域全体で緊急時の対応がより強化され、災害時などの非常時に備えることができます。
- ・一定規模の職員を確保することで、専門人材の確保・育成や危機管理体制の強化を図ることができます。
- ・一方で、広域化した場合の課題としては、お客様窓口を集約した場合にサービスの低下を招いたり、下水道事業を分離することで業務効率が低下したり、各自治体の意向が反映されづらくなるとも言われています。今後、それらを補う対策を検討します。

5. 市民説明会開催状況

(1) 市民説明会の状況

「上田長野地域水道事業広域化研究会」による財政シミュレーション検討結果等について、昨年度、市民説明会を開催したが、参加者が少なかったことから、今年度、一層の理解促進を図り、水道利用者の視点から事業の広域化について意見を伺うため、会場を増やし、20会場で実施した。

開催日	会場	参加者	開催日	会場	参加者
8月20日	生涯学習センター	7	9月12日	豊野公民館	11
(8月21日) 10月25日	信州新町公民館	7	9月14日	若穂公民館	4
8月23日	吉田公民館	8	9月16日	芹田公民館	13
8月25日	中条交流センター	11	9月19日	大豆島公民館	3
8月28日	戸隠公民館	16	9月21日	安茂里公民館	11
8月29日	松代公民館	5	9月26日	篠ノ井交流センター	12
8月31日	浅川公民館	20	9月27日	古牧公民館	5
9月5日	柳原交流センター	4	10月3日	三輪公民館	10
9月7日	更北公民館	8	10月4日	朝陽公民館	2
9月9日	川中島町公民館	12	10月5日	若槻公民館	9
				合計	178名

※ 参 考

説明会

長野市 R 4 住民自治協議会役員説明会 6/17~10/12 27会場 598人、市民説明会 11/20~29 4会場 51人

上田市 R 4 地域協議会 9/15~27 5会場 85人、R 5 市民説明会 8/1~9/24 9会場 155人

千曲市 R4 自治会長 9/28~30 4会場 55人、市民説明会 10/22~11/6 5会場 27人、R5 市民説明会 6/27~7/13 8会場 42人

坂城町 R 4 町民説明会48人

(2) 主な質問

質 問	回 答
<p>【広域化全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4事業体は、皆同じ方向で広域化検討に臨んでいるのか。 ・アンケートや説明会で意見を聞くとしているが、<u>広域化することは既に決定しているのか。</u> <p>【運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民営化が心配。水は命の元、死守してもらいたい。<u>民営化はしないと約束してもらいたい。</u> <p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送水管を2重化することだが、<u>長野市は現在バックアップが必要な状況なのか。</u>また、バックアップの設備が必要な状況であれば、送水管の2重化により、長野にはどんなメリットがあるのか。 <p>【危機管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>災害が起きた場合、すぐに対応できるのか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業体によってメリットの大きさは異なるが、今は同じ方を向いて検討を進めている。 ・<u>広域化は決定しているものではなく、検討しているところ</u>である。 <p>・<u>民営化は考えていない。</u>今後も事業運営については公営と考えている。広域化により、専門的で強い組織をつくりたいと考えている。</p> <p>・長野市の主要施設は、犀川浄水場、夏目ヶ原浄水場及び川合新田水源の三つの施設で、現在は浄水する能力に余裕がある状況であるが、<u>2重化すれば、災害等緊急時に上田長野間の高低差で水道水の運用が可能となり、より安全度が高まるとともに、浄水場を廃止し、更新費用を抑制</u>できるメリットがある。</p> <p>・<u>広域化することで水道専門の職員数の確保、育成ができ、災害箇所に集中的に職員、資機材の投入が可能となる。</u>大規模な災害の場合は日本水道協会に依頼することで全国から支援を受けることができる。</p>

質 問	回 答
<p>【下水道】 ・水道事業の広域化に併せ<u>下水道事業の広域化</u>を行わない理由は。</p>	<p>・水道事業は料金収入で事業運営し、下水道事業は使用料収入と税金で運営していることから、まずは水道事業の広域化を検討し、上下水道を分けて考えている。下水道事業においては流域下水道等、既に一部、広域化されていることもあり、<u>国の動向を見ながら検討</u>していくことになる。</p>

(3) 主な意見

意 見
<p>【広域化全般】 ・<u>事業の広域化については</u>、これからのことを思えば<u>必要なことだ</u>と思っているが、<u>広域化後の水質が気</u>がかりである。 ・<u>犀川の南北二つに運営が分かれている長野市の水道の事業運営が一つに統合広域化されるのは大きい。</u></p> <p>【運営】 ・<u>経営部門の効率化、現場部門の充実の両立が必要。専門技術者の継承が必要</u>と考える。 ・原則として水道事業は市町村が経営していくとあるが、今後も市町村が経営していくのか市民は心配している。独立採算制でいかに水道料金を安くできるかという面も重要であるが、水道は蛇口をひねれば水が出るという大変ありがたい重要な施設。水道は一番大事な事業であると考えている。<u>今後も安心安全な水道水を提供</u>いただけるように尽力していただきたい。</p> <p>【施設】 ・人口が減る中で広域化が必要であることが分かった。送水管の2重化もいいことだと思う。浄水場を廃止することで水量が足りなくなることがあるのか心配である。</p>

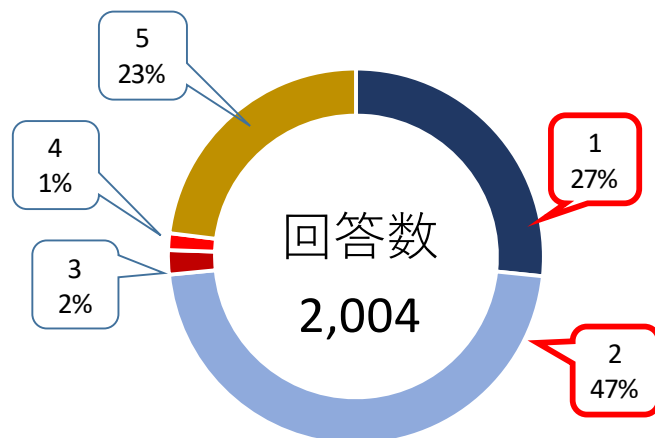
6. 市民アンケート結果（中間速報）（R5.11.15時点）

- 対象 18歳以上の市民 6,000人（無作為抽出）
- 期間 10月17日～10月31日
- 設問 20問（水道事業について他 13問、広域化について 7問）
※広域化の説明資料（計20ページ）を同封、Youtube説明動画のQRコードも周知
- 回答 2,004件（有効数） 33.4%（有効回答率）
- 結果 74% が広域化に取り組むべきと回答

※ほかに上田市が4,000人を対象に10/16～11/3まで実施し、現在集計中

千曲市が令和4年度実施2,000人対象で637人回答 広域化に賛成 62%

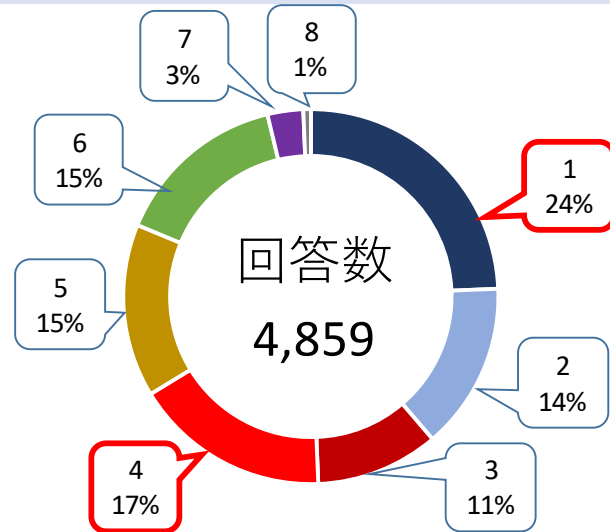
水道事業広域化に対してどのように考えますか？（1つお選びください）



■ 1. 取り組むべき	535
■ 2. どちらかといえば取り組むべき	937
■ 3. どちらかといえば取り組むべきでない	42
■ 4. 取り組むべきではない	29
■ 5. なんとも言えない、わからない	461

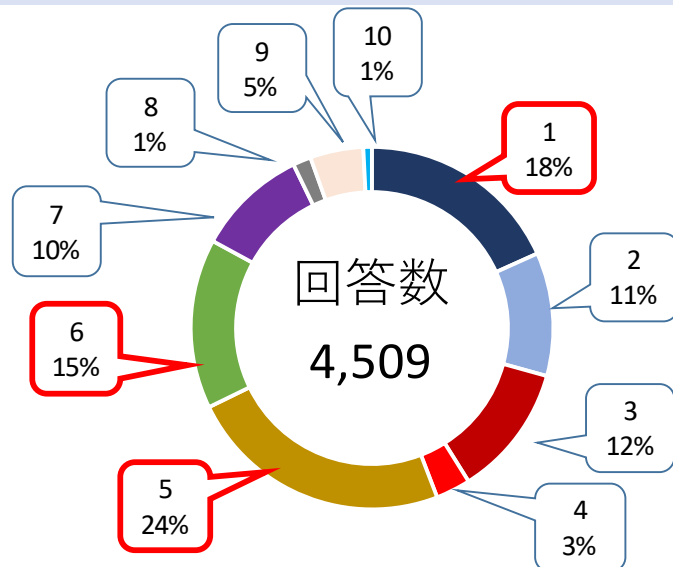
●メリットや不安、課題

水道事業を広域化した場合、メリットだと思うことは何ですか？(複数回答可)



1. 水道料金の値上幅の抑制	1,182
2. 送水管の二重化などによる災害への備え	701
3. 専門人材の育成・確保	516
4. 水道設備の更新や耐震化が進む	822
5. 施設の統廃合などにより各事業体で個別経営を続けるよりも維持管理・投資が効率化される	726
6. 国の補助金を活用することができる	732
7. 特にない	149
8. その他	31

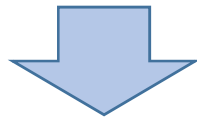
水道事業を広域化した場合、不安・課題に思うことは何ですか？(複数回答可)



01. お客様窓口を集約化した場合、サービスが低下しないか	823
02. 各自治体の意向が反映されづらくなるのではないか	496
03. 下水道事業の分離により、業務効率が低下しないか	532
04. 他の自治体よりメリットが少ないのではないか	140
05. 料金値上幅が本当に抑制されるか	1,067
06. 水質などの安全性	683
07. 断水等の災害への備え	447
08. 長年使ってきた水道への愛着	72
09. 特にない	214
10. その他	35

7. 長野市上下水道局の取組

- 令和5年度の取組
 - 市民説明会開催 20会場で実施
 - アンケート調査 (中間速報 74 %が水道事業広域化に対し、取り組むべき・どちらかといえば取り組むべき)
- 上田長野地域水道事業広域化研究会の取組 (研究会1回、幹事会14回)
 - 第6回 研究会 開催 (10月18日)
 - 今後の取組
 - ・ 事業統合に向けた検討を進めるため、広域化を実施する場合の運営体制、事業経営や施設整備計画、財政シミュレーション等の詳細についての研究検討、住民理解の促進等に引き続き取り組むことが必要
 - ・ 取り組みを進める上で、更に踏み込んで具体の検討などを行うため、専門の組織を設けることを含めて協議を進める



今後の取組 (案)

上田長野地域水道事業広域化研究会 ⇒ **構成団体による任意協議会の設立**

任意協議会 (案)

構成団体：長野県(企業局)、上田市、千曲市、坂城町、長野市
 設置趣旨：水道企業団設立による事業統合に向けた検討、協議を行う

8. 令和5年度の経過と今後の予定

月 日	内 容
令和5年8月20日～10月25日	市民説明会 20会場 178人
令和5年10月17日～10月31日	市民アンケート 6,000人 現在集計・分析中
令和5年10月18日	第6回上田長野地域水道事業広域化研究会 開催
令和5年11月3日	水道の未来を考えるシンポジウム 151人 (主催：上田長野地域水道事業広域化研究会)
令和5年11月28日	部長会議 (取組報告)
令和5年12月	市民アンケート 集計・分析完了
令和5年12月11日	長野市議会 水道事業広域化調査研究特別委員会 上下水道局取組(任意協議会設立)を説明し意見を伺う
令和6年1月	部長会議 (任意協議会参加)
令和6年1月または2月	市議会政策説明会 (任意協議会参加)
令和6年3月	任意協議会参加の決定
令和6年4月以降	任意協議会設立